

中国ビジネスの風を掴め 波に乗れ

孫子曰く、
彼れを知り己れを知らば、百戦して殆うからず。
彼れを知らずして己れを知らば、一戦一負す。
彼れを知らず己れを知らざれば、戦う毎に必ず殆うし。



The Japan Hong Kong Society

CHINESE
MANAGEMENT
AND
MARKETING
SCHOOL
— 華人経営研究 —



The Japan Hong Kong Society

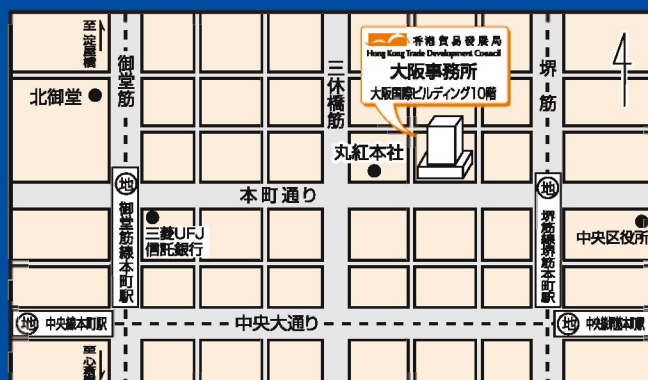
グローバル経営、日本的経営では勝てない中国・華人圏ビジネス!

華人経営の本質と日本的経営の真髄を知れば、
中国・華人圏ビジネスに憂いなし!

勝利への最短コース!

チャイニーズ・マネジメント&マーケティング・スクールは
そのノウハウをご提供します!

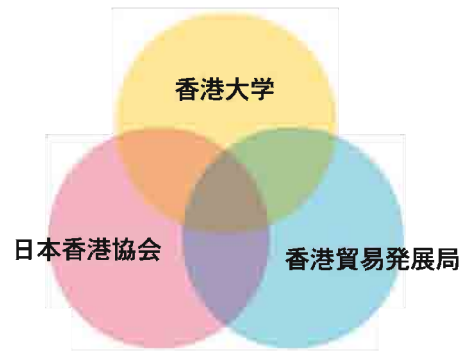
- 主 催
日本香港協会全国連合会
- 共 催
特定非営利活動法人 日本香港協会
関西日本香港協会
- 特別協力
二松学舎大学
- 協 力
香港大学商学院華人経営センター
香港貿易發展局
- 後 援
独立行政法人 日本貿易振興機構
独立行政法人 中小企業基盤整備機構
大阪府
大阪市
日本商工会議所
社団法人 関東ニュービジネス協議会
社団法人 日本ニュービジネス協議会連合会
公益社団法人 関西経済連合会
大阪商工会議所
一般財団法人 日中経済協会
日中投資促進機構
一般社団法人 日中経済貿易センター
財団法人 大阪産業振興機構
財団法人 大阪国際経済振興センター
信金中央金庫
東京中小企業投資育成株式会社
東京和橋会
関西和橋会
特定非営利活動法人 アジアITビジネス研究会



<http://www.jhks.gr.jp/school/index.html>

第9期
2011年9月～2012年6月

開講の主旨と狙い



CMMSの運営

購買力が飛躍的に伸長する中国市場は、キングメーカーを目指す世界の企業がひしめく一大戦場となってきました。躍進する中国経済を動かす華人経営の「暗黙知」を解明し、自国企業の対中事業を支援するべく、ケンブリッジ大学、ペンシルベニア大学、西オンタリオ大学、台湾国立大学、シンガポール国立大学、香港大学、北京大学、清華大学など世界のビジネススクールがチャイニーズ企業に関する各種研究所を設け、抜本的教育が始まっています。我国においても、中国、香港、台湾を合わせた“中華市場”は今や最大輸出マーケットとなり、そのチャンスは無量大と云えるでしょう。新たな日華間競争と協調時代到来の中、対華事業の正しい競争戦略と同盟戦略、そして何よりも中華文化圏を旅する羅針盤と操縦者が不可欠になっています。

そうした中、中国大陸はもとより世界に広がるチャイニーズの経営管理行動様式の全般的解明研究と人材育成を目指した、日本初の“華人経営塾”、チャイニーズ・マネジメント&マーケティング・スクールが、香港大学商学院華人経営研究センターの全面バックアップのもと、2003年に関西に開講しました。本スクールの最大の特徴は、カリキュラムとチャイニーズの捉え方にあります。カリキュラムは2

つの分野、理論編、実践編から成り、それぞれの素養を、10ヶ月間の思考訓練を通じて一人の人間に定着させるという画期的内容になっています。理論編では華人社会の基礎概念を歴史、思想、社会学等から抽出して学習し、華人経営行動の分析力をつけます。実践編では業務分野別に華人経営様式を検討、実際に分析してみます。

また、チャイニーズに対する考え方として本スクールでは、香港大学の考え方を導入し、黄河文明期から現代まで、そして中国大陸から世界にまで拡大するチャイニーズを総合的に“華人”と捉え、“時空と地理”を越えて息づく伝統文化と、変化の歴史を概観、そしてそこから生成発展した、際立つ経営組織行動をチャイニーズ・マネジメント（華人経営）として把握し、中国経済市場を大きく理解することに役立てていきます。かようなチャイニーズの捉え方は日本では画期的であり、新たに到来する日華競争・協調時代を先取りする形で提唱していきます。新時代に生存できる企業人材を、数多く輩出していくのが本スクールの社会的役割と考えています。二松学舎大学のご協力により、第9期には同大の教授による語学編を敷設することとなり内容が益々充実しております。

本スクールは、香港ビジネス協会世界連盟が主催して毎年開かれる世界大会“香港フォーラム”第7回大会（2006年11月）における事業コンテストで、CMMSの大きな努力が香港及び香港ビジネス協会の知名度を共に高めたとして表彰され、香港貿易發展局フレッド・ラム総裁から”2006年度のアジア・オセアニア地域における卓越した先進的事業大賞”賞金2万香港ドルを授与されました。



ご挨拶



日本香港協会 全国連合会会長
(元三菱商事取締役副社長)
財前 宏 氏



香港大学商学院
国際マーケティング学部
華人経営研究センター所長
Dr. David Tse

香港は、長きに亘り卓越した「チャイナウオッチ」の拠点として世界に価値ある情報を発信して参りましたが、その特異な機能は中国本土が現代化・経済大国化してゆく中においても、衰えることなく寧ろその存在感を増しております。先進諸国から見るとまことに異質な中国経済を理解するには、「華人」の視点が極めて有効と思われれます。さらに香港は、その世界最先端の資本主義経済とアジア最大の国際都市という利点を生かし今後の中国経済の動向などを提供できる唯一の発信地です。本講座はもとより関西日本香港協会が主体となって開講されました。「華人の経営に学ぶ」を主眼として兵法、儒教、国情、華人ネットワークなどの角度から華人経営を分析して参りました。今般、二松学舎大学のご支援が得られることとなり中国ビジネスの新たな切り口の発見に繋がればと念じております。

●受講者からのコメント

※社名・肩書は受講当時

中国の歴史の根底に存在する儒教、道教の思想が体系的に見えてきたことと、それに基づく、中国人の心理と行動を理解する上で大事な3つ要素としての「面子」「関係」「人情」の本質的な意味そして親と疎を分けるものとしての中国人の人間関係の特徴の大事な3つの要素：自己人、外人、熟人の関係の「利益、得」によって活きる基盤の自己中心的（一見）且つ合理的な打算が常識として存在している事の理解が出来る様になり、現地での見方、考えた方、価値観が大きく変わりました。

日本式組織経営のやり方と忠誠心への価値観醸成等を捨てきれずにいましたが、CMMSの講義を通じ決がつき、CMMSの講義を受けながら優秀な現地人の探索と権限委譲への運営方針を変更した結果、業績にも反映される様になって来ました。

幸い、現在のキーパーソンである現地パートナーとは個人的なパーソナリティで自己人の関係が形成されていましたが、CMMSの中でその存在の大切さと今後の関係継続が極めて重要な事も良く理解出来ました。

みらかホールディングス株式会社 取締役執行役専務 田澤 裕光 氏（平成23年修了）

理論編を受講して初めは、なぜこのようなことを勉強して意味があるのか正直わからなかったが、徐々に中国の人の奥にあるものがわかってきた。

実践編では、実際に中国でビジネスされている方よりお話しいただいた。色々な視点から中国を見ることの大切さと今まであまり認識できていなかったことを気付かせていただいた。

今後、中国の方と一緒にビジネスを行うためによい知識と感覚が身についた。

東田電機産業株式会社 専務取締役 東田 伸郎 氏（平成23年修了）

約一年、CMMSで勉強させていただき、圧倒されることばかりでした。自分がいかに、中国をわかったつもりでいて分かっていなかったのかを痛感しています。一番身近で分かりやすいのが交渉（特に単価）事です。今までこの辺が底値かなと思っていた所から、実はもう二段階下があることが分かりました。これだけシビアな交渉をすれば、関係が悪くなるかとも思っていたのですが、逆にお互いの信頼関係は強くなっているように思います。自分の主張をはっきりすることで、相手も今まで言わなかった事を言うようになりました。また酒の席などでも、相手が言っていることの本当の意味が分かるような気がしています。（もう二段階奥があるかも知れませんが…）

灰一株式会社 代表取締役 灰谷 佳治 氏（平成23年修了）

●その他

本スクールの理論編・実践編を全講義取得され、出席率が70%以上の受講者の方には、修了証書、記念品等を授与させて頂く予定です。

●募集内容

対象者	中国事業を展開する企業経営者、幹部、管理部門責任者、中国ビジネス担当者、中国赴任予定者、弁護士、公認会計士、税理士、大学生、大学院生等
開講時間	平成23年9月～平成24年6月まで（別紙参照）
場所	香港貿易發展局 東京事務所／大阪事務所 （講義は、東京・大阪間で双方向テレビ会議システムによる同時中継で行います。）
受講費用	別紙参照

※講義日程と講師はやむを得ず変更する場合があります。

団体紹介

＜日本香港協会全国連合会＞

日本香港協会は日本と香港の文化・経済・社会面で交流の輪を広げることを目的に民間の任意団体として、1988年に東京に設立され、その後、2002年特定非営利法人となった。1989年以降、関西・中京・九州・山形・北海道・宮城・沖縄各地に協会が設立され、2010年には広島日本香港協会が発足した。全国連合会は、香港貿易發展局東京事務所に事務局を置き、地区協会が主催するビジネスセミナーや会員同士の交流の場となるパーティーなど、様々な活動を支援している。また「香港ビジネス協会世界連盟」が主催する国際会議「香港フォーラム」に参加するため、毎年全国の会員メンバーで編成したミッションを派遣するなど、日本と香港の架け橋となるべく日港市民友好親善、国際協力のための役割を果たしている。

＜香港大学商学院華人経営研究センター＞

1999年、内外企業の増大する中国大陸向けビジネスニーズに答える為、香港大学商学院に独立研究所として設置された。ケンブリッジ大学のDr. John Child教授（経営管理学、経営戦略で世界的権威）と香港大学商学院Dr. David Tse（マーケティング）が共同でセンター代表を務める。これまでに（1）伝統的華人価値感と華人経営、（2）華人企業の生成と成長、変遷、（3）中国市場管理の3つの上部研究分野のもとで様々な研究が行われてきた。20名に及ぶ経営学、社会学、心理学、比較人類学などの研究者が学際的協力を通じて複雑な中国問題に多面的に取り組んでいる。すでに100本を超えるワーキングペーパーが発行されており、ほとんどの研究に政府、企業から補助金や多額の助成金が与えられており、香港の対中研究への積極的な姿勢が感じられる。

＜香港貿易發展局＞

1966年、香港政府によって設置された対外貿易振興準政府機関。本部香港。現在、財・サービス振興部門、ビジネスマッチング部門、展示事業部門、中小企業事業部門、研究部などがあり、全世界に広がる海外事務所と連携し、現地経済に向けて様々なサービスを提供している。日本には東京、大阪に事務所を持ち、貿易引合、貿易コンサル、香港貿易実務セミナー、各種ビジネスセミナー、展示商談会、訪香港華南ミッション派遣など多様な事業を実施している。日本香港協会主催のチャイニーズ・マネジメント&マーケティング・スクールは香港貿易發展局が全面協力している。ここ数年は増大する中小企業の対中進出や国際業務への支援事業を拡充している。

※講師紹介は2010年4月時点のもの

講師のご紹介

理論編：各専門分野の著名教授陣で最新の研究成果を反映し、より深い知識を得られます。

実践編：中国ビジネス最前線で活躍している現役専門家・企業人陣だから、最新の情報がダイレクトに講義に反映されます。

香港大学商学院華人経営研究センターによる

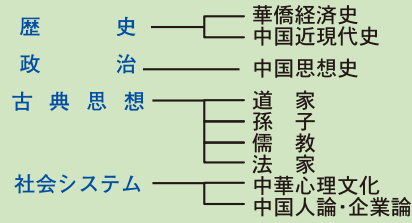
理論編15回

中国・華人経済圏の経営問題を、社会科学を横断して“学際的”に研究する、香港大学商学院華人経営研究センターの基本的アプローチをそのまま採用、華人経営を“総合人間行動科学”として解明する立場でカリキュラムを構築。その理論分野は、香港大学の指導によって、1) 華人企業の生成と変遷(華人組織の変化解明)、2) 伝統的価値と経営(華人社会の不易的社会システムと経営の関係解明)、3) 中国市場研究の3つに分類、香港大学と日本を代表するトップクラスの学術研究者が集結して指導に当たります。現代に生きる古典思想と社会システムの基礎概念を多く学習します。

1 華人企業生成と変遷(動的分析)

経営 ——— 華人経営

2 伝統的価値と経営(静的分析)



3 中国市場研究

経済 ——— 中国経済・市場, 中国企業

華人経営Ⅰ 杉田 俊明氏

甲南大学経営学部教授
中国・中山大學管理學院MBAセンター国際商務講座担当専任教授、南開大学、復旦大学Visiting Professorなどを歴任。早稲田大学大学院商学研究科、関西学院大学大学院商学研究科での兼務も歴任。日中両国企業における教育研修を多数担当。商社、コンサルティング会社を経て現職。北京での13年も含め、中国での滞在は通算25年を超える。2011年度NHKラジオ中国語講座(実戦ビジネス中国語)講師。

華人経営Ⅱ 王 効平氏

北九州州立大学大学院 マネジメント研究科(ビジネススクール)教授
90年九州大学大学院経済学研究科修了。経済学博士号取得。財団法人国際東アジア研究センター専任研究員を経て、92年北九大商学部助教授、00年同教授、2007年より現職。95~96年米国カリフォルニア大学パークレー校客員研究員。専門はアジア経営論、比較経営、華人経営論。

中国企業Ⅰ 黄 泰岩氏

中国人民大学中国经济改革与发展研究院常务副院长
中国人民大学商学院教授
中国人民大学商学院博士課程修了後、92年同大学教授。米国サウスカリフォルニア大学客員教授を経て、96年中国人民大学経済学研究所所長兼経済学院副院長。長。04年より新規設立されたシンクタンク中国民营企业研究中心主任(所長)。企業4社の社外取締役も兼務。胡錦濤政権のブレーンとしても知られる。

中国企業Ⅱ 朱 炎氏

拓殖大学政経学部教授
上海市政府財政局、財政研究所を経て、一橋大学大学院経済学研究科修了後、富士通総経理経済研究所主任研究員を経て現職。

歴史Ⅰ 濱下 武志氏

龍谷大学国際文化学部教授
東京大学大学院で東洋史学を学ぶ。東京大学東洋文化研究所教授。専門は東アジア近代史研究。特に中国を中心とした東アジア東南アジアの朝貢貿易の歴史的役割に注目。華僑送金ネットワークの歴史的解明に定評がある。

歴史Ⅱ 田中 仁氏

大阪大学大学院法学研究科教授
広島大学卒業後、同大学院文学研究科(東洋史学専攻)に進学。04年博士(国際学)。主な研究分野は1930年代の中国政治史で、中国共産党や中国政治に造詣が深い。

政治 加々美 光行氏

愛知大学現代中国語学部教授
1944年大阪生まれ。東京大学文学部卒業。専門分野は中国政治思想。毛沢東論、文化大革命論、東アジア民族問題、東アジア国際政治等を研究テーマとしている。

中国人 園田 茂人氏

東京大学大学院情報学環/東洋文化研究所教授
61年秋田県生まれ。東京大学大学院社会学研究科博士課程中退後、東京大学文学部助手、中央大学文学部教授、早稲田大学大学院アジア太平洋研究教授などを経て、09年より現職。研究テーマは社会階層のアジア比較、日系企業のアジア進出と文化変容、中国の社会変動等。

中国思想史 楊 中芳氏

香港大学商学院 華人経営研究センター 伝統的価値と経営研究員
広州中山大学心理学部教授

古典思想Ⅰ 河田 悌一氏

日本私立学校振興・共済事業団理事長
大阪大学大学院修了。中国思想史専攻。客員研究員として80年から1年間イェール大学、91年から1年間プリンストン大学で余英時教授の下で清代思想史を研究。03年10月から09年9月まで関西大学学長。10年1月より現職。

古典思想Ⅱ 湯浅 邦弘氏

大阪大学大学院文学研究科教授
97年大阪大学文学博士。北海道教育大学講師、島根大学助教授、大阪大学助教授を経て00年現職。70年以降に発見された新出土資料の解説作業を通じて諸思想の成立と展開を考察。

古典思想Ⅲ 宇田川 幸則氏

名古屋大学法学部法学研究科教授
北海道大学法学部卒業後、同大学院法学研究科博士課程を経て、03年より関西大学法学部助教授。04年名古屋大学助教授(法政国際教育協力センター)。この間、中国武漢大学法学院や中国社会科学院法学研究所にて研究。中国法に詳しい。

古典思想Ⅳ 山田 利明氏

東洋大学文学部教授
47年、東京生まれ。東洋大学文学部、同大学大学院修士課程、大正大学大学院博士課程を修了。その後、大正大学文学部助手。この間、カリフォルニア大学パークレー校に留学。エドワード・シェファー教授の指導を受ける。現在、東洋大学文学部教授。博士(文学)。日本道学会会長。

中国市場Ⅰ 関 志雄氏

㈱野村資本市場研究所シニアフェロー
96年東京大学経済学博士、86年香港上海銀行本社経済調査部I/I/ミスト。87年野村総合研究所入社、経済調査部主任研究員、経済調査部アジア調査室室長を経て01年独立行政法人経済産業研究所上席研究員。04年より野村資本市場研究所シニアフェロー。

中国市場Ⅱ Dr. David Tse

香港大学商学院華人経営研究センター所長
国際マーケティング教授
カリフォルニア大学卒業後、カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学で10年間教鞭をとる。その後、香港、中国、米国、欧州の大学で研究を重ね、98年香港大学国際マーケティング教授に就任。ジョン・チャイルド教授とともに華人経営研究センターを設立し所長に就任、現在に至る。

日本香港協会 全国連合会による

実践編15回

華人ビジネス第一線で活躍する実務者が集合し、法務、税務会計、金融、貿易、小売、生産、労務などの専門的実務、日本を代表する一流企業の対中対華戦略、そして華人企業組織における経営を、現実にもとづいて解説。理論編で学んだ諸概念を駆使し、実務現象の分析力をつけていきます。

1 実践基礎

法金 務 税 務 会 計 流 易 金 務 融 務 通 融 務 物 質 流 易

2 実践応用

総合Ⅰ～Ⅲ 華人経営者演習Ⅰ～Ⅲ

税務会計 柴 良充氏

プライスウォーターハウスクーパース香港事務所 日本国公認会計士
90年青山監査法人アライズウォーターハウス(現中央青山監査法人)に入社。95年日本国公認会計士の資格を取得、アライズウォーターハウス香港(現アライズウォーターハウス)へ転勤。現在同社にて日系事業開発部門責任者、香港華南地区進出日系企業の監査、税務その他支援を行っている。

金融 松田 宇充氏

HSBC投信株式会社代表取締役社長
一橋大学商学部卒、米国ニューポート大学MBA、英国サレー大学MBA、米国公認会計士、CFA公認証券アナリスト、77年東京銀行入行、89年東銀リース香港社長、91年香港リース協会会長、92年香港上海銀行日系法人部長、99年同行大阪支店長、後同行事業法人本部長、02年より現職。

流通Ⅰ 阿川 裕氏

永旺商業有限公司商品取締役
80年イオン株式会社入社、89年マレーシアイオン、98年アジア商品開発(香港)、00年イオン本部PB開発部、04年永旺(中国)商業有限公司副総裁・採購部総経理(深圳)、07年イオン・永旺(香港)百貨有限公司採購部取締役を経て、09年より現職。

労務 川副 哲氏

肇英實業有限公司董事長
70年慶応義塾大学商学部卒、宇部興産とホクワナー(現GE)合併の宇部サコ入社、82年宇部サコとホクワナー出資の宇部マホツ(香港)に日本側代表として勤務。87年香港マホツリッチ社入社、89年独立してアフラック成型、金型製造の肇英有限公司設立、92年有志とシノベック設立、現在に至る。

物流 能勢 正貴氏

一般社団法人日本海事検定協会検査第一サービスセンターシニアサバイバー
82年協会奉職。01年5月、初代香港事務所長として事務所開設。その後07年5月から09年12月まで東京在住の香港事務所長として日本と香港・広州で業務を行なう。10年1月より現職。また、96年より国際物流、特に中国物流に関し中国各地、香港、台湾各地での現地調査を伴う国際物流、ロスプレベンション研究を行い、執筆および各地での講演も積極的に行う。

総合Ⅰ 古屋 明氏

伊藤忠中国総合研究所代表
72年東京外国語大学中国語科卒業後、伊藤忠商事(株)へ入社。天津や上海駐在を経て、94年伊藤忠(大連)有限公司総経理。00年伊藤忠マネジメントコンサルティング(株)出向後、中国室長等を歴任。04年より現職。10年以上の中国駐在経験をもち、中国ビジネスのプロフェッショナル。

総合Ⅲ 柴田 明夫氏

丸紅経済研究所所長
東京大学農学部卒業。丸紅株式会社入社。鉄鋼第一本部 調査部を経て、00年に業務部(丸紅経済研究所)産業調査チーム長、02年に同研究所首席研究員、03年に同副所長、06年から現職。経済企画庁(現・内閣府)「地球環境・エネルギー・食糧問題研究会」委員、農林水産省「食料・農業・農村政策審議会」臨時委員などを歴任。

華人経営者演習Ⅰ Mr. Simon Cheuk

㈱大昌貿易行 代表取締役会長
79年香港中文大学経済学部卒、アイカー電器有限公司入社。84年上記大学MBA取得。87年CITICパシフィック・グループに移籍。人事、商品開発、対中貿易に従事。91年CITICパシフィックによる大昌貿易グループ買収に伴い同社に移籍、94年大昌貿易開発部部長就任。98年(株)日本大昌貿易行副社長就任、99年代表取締役社長を経て、11年より現職。

華人経営者演習Ⅱ Mr. Anson Chan

ポンド・グループ執行部 執行部 執行部
香港華人財閥ポンド・グループの総帥。故アナ・チャン氏の長男。86年カリフォルニア州立大学パークレー校卒、トロント大学MBA取得、イリノイ州公認会計士。AIG投資会社、野村インターナショナル香港を経て04年から現職。ポンド・グループで不動産事業を経営する傍ら、ご両親が設立した「チャン教育機構」にも携わる。

華人経営者演習Ⅳ Mr. Bernard Zau

マイクロ・エレクトロニクス社 董事長
元香港エレクトロニクス協会副理事長、現エレクトロニクスパッケージソリューション協会副会長。現香港日本経済委員会委員、64年にマイクロエレクトロニクス社設立、本社香港、製造拠点は中国昆明に、販売拠点は米国、半導体専門メーカーとして38年の歴史。製品群はトランジスタ、オフエレクトロニクス、OEM、PCBアセンブリ、電子部品貿易も行。94年にISO9002取得。日本の大手家電や電子メーカーと長い取引があり、知日家として知られる。経営学の造詣深し。

法務 武藤 鎌太郎氏

フレッド・カン法律事務所(弁護士)
93年フレッド・カン法律事務所入所、02年香港弁護士会にて弁護士登録。現在同事務所香港・中国ビジネスを展開する日系顧客の案件を担当。香港では主に会社法・商法関係の案件を多く扱う。中国については独資企業設立など事業の立ち上げ案件を扱う。

貿易 北 基行氏

豊田通商(株)中国・香港・台湾担当部長
神陽貿易(株)総経理
57年神戸市外国語大学中国語学科卒、豊田通商(株)入社。66~77年シンガポール・マレーシアに11年間駐在。79~80年北京事務所長、その後中国・香港・台湾地域担当部長を経て95年定年退職。95~97年同社嘱託。97年神陽貿易(株)設立後、現在に至る。

流通Ⅱ 萬歳 教公氏

元セブンイレブン北京有限公司 董事長
早稲田大学第一法学部卒業。80年(株)セブンイレブン・ジャパン入社。97年常務取締役総務本部長、04年セブンイレブン北京有限公司董事長、(株)セブンイレブン・ジャパン専務取締役総務本部長兼中国室長、06年(株)セブン&アイ・ホールディングス専務執行役員法務部管理兼務、08年退任。

総合Ⅱ 青木 俊一郎氏

一般社団法人日中経済貿易センター理事長
龍谷大学経営大学院 特設教授
63年松下電器産業株式会社入社。68年台湾松下電器有限公司、70年インドネシア・ジャカルタ・セルベック営業部長、79年松下電器駐代表所長、87年北京松下カプラープラント有限公司営業部長、90年松下電器駐代表所首席代表、94年松下電器有限公司総経理(社長)、00年松下電器産業株式会社中国・北東アジア本部顧問(03年3月)、03年日中経済貿易センター理事長に就任、現在に至る。

華人経営者演習Ⅱ Mr. Daniel Shao

萬友控股有限公司 董事長
1948年生まれ。英オックスフォード大学卒業後、米オハイオ大学にて法学博士号を取得。現在Executive Directorとして実質的にVan Yu Groupを動かしている。香港・日本経済委員会委員も務める。日本留学経験はないが、香港の日本総領事館にて日本語を学び、流暢な日本語を話す。中国ビジネスに精通し、その知識の豊富さと見識の深さから日本にはよく知られて講演を行っている。

第9期 CMMS 講義内容

日本香港協会全国連合会による

語学編 15回

このほど特別協力を頂いている二松学会大学のご支援の下、CMMS第9期に語学編を併設することになりました。語学編設置はCMMS第3～4期以来です。

『有朋自遠方来、不而楽乎?』(友達方より来たり、また楽しからずや)等、中方企業や政府機関などとの交渉や折衝時に、諺や四字成語、歇後語等を使うと、相手との距離感を縮め商談を円滑化することができます。この巧みな会話の秘密は、中国古典思想や文学の中にあります。

本語学編では、CMMS本講で思想を学習する際使われる『論語』、『孫氏』、『韓非子』、『老子』、『莊子』理解を補強し、高い教養人が使う『唐詩』、『宋詩』から、尚、中国人の思考パターンの基礎ともなる『三国志』、『水滸伝』、『紅樓夢』の三大文学を、二松学会大学文学部教授陣の直接指導下、学んでいきます。

「急がば遅れ」で今はじっくり中国文化思想に触れて将来に備えておきましょう。

ビジネス中国語

中国文化概論、中国語概論
文学編 I～III
思想編 I～IV
文学編 IV～VII
思想編 V～VII



中国文学

牧角悦子氏

二松学会大学文学部教授
九州大学大学院
人文科学研究科修士課程修了
文学博士(京都大学)



中国文学

佐藤保氏

二松学会大学名誉教授・顧問
東京大学大学院
人文科学研究科修士課程修了
元お茶の水大学学長



中国文学

伊藤晋太郎氏

二松学会大学文学部専任講師
慶応大学大学院
文学研究科修士課程修了



中国思想

野村英登氏

二松学会大学文学部非常勤講師
東洋大学大学院
文学研究科修士後期課程修了
文学博士(東洋大学)



実践中国語

智穎氏

中国通信日本支社
セールスマネージャー
二松学会大学大学院
文学研究科修士課程修了



第9期 CMMS 講義内容

語学編(第1回～第15回)

開講回数	講義タイトル
開講式	開講式 式辞 「CMMS 趣旨説明」 基調講演「華人経営に学ぶ」
第1回	期間全体の内容説明と背景としての中国文化概論、中国語概論
第2回	文学編 「詩経」・「楚辞」・六朝詩(曹操・陶淵明)
第3回	文学編 唐詩(唐詩三百首)
第4回	実践中国語 ビジネス中国語
第5回	文学編 唐以降の詩と文
第6回	思想編 「論語」 中国思想概論と取り上げる教材、読み方の説明等
第7回	思想編 「孫子」
第8回	実践中国語 ビジネス中国語

開講回数	講義タイトル
第9回	文学編 中国の小説について
第10回	文学編 「三国志」
第11回	文学編 「水滸伝」「紅樓夢」
第12回	実践中国語 ビジネス中国語
第13回	思想編 「韓非子」
第14回	思想編 「老子」「莊子」
第15回	実践中国語 ビジネス中国語
修了式	修了式 パネルディスカッション「日系企業の華人社会における事業経営とマーケティング」 華人経営の特質から学ぶ中華文明圏における日系企業の日本的経営と華人経営の最適融合。

理論編(第1回～第15回)

実践編(第16回～第30回)

開講回数	講義タイトル	開講回数	講義タイトル
開講式	開講式 式辞 「CMMS 趣旨説明」 基調講演「華人経営に学ぶ」	第16回	法務「中国事業における法律の役割」 一国二制度下の法体系、二つの法律下の華人経営、中国的合理主義。
第1回	華人経営I「華人・華僑経営の特質 ～日本企業への啓示～」 華人・華僑経営の定義と特質、歴史的概観、経営思想、華人経営分析。	第17回	税務会計「タックスヘイブンにおける税務会計」 香港税制の特質、華人企業の税務・財務管理の特質。 中国の貿易・税務制度の変化と日系企業の課題。
第2回	華人経営II「華人企業の経営構造」 華人経営に於ける企業家精神、戦略立案、企業統治、財務構造、資本調達の特徴を学ぶ。	第18回	金融「香港金融市場の現状と展望」 NyLonKong時代の香港金融制度の優位性。華人・中国系企業の資金調達と運用の特質、香港ドルと人民元の動向等香港金融界の全貌の解明と日本金融界の課題を解く。
第3回	中国企業I「中国民営企業の最新動向」 社会主義市場経済体制下の民営企業の発展と今日的課題。	第19回	貿易「対中事業戦略の要諦」 中国思想の深奥から解き明かす必勝の対華人交渉術、事業戦略の構築のノウハウを、長年の対中貿易経験より解説。
第4回	中国企業II「中国企業の対外投資と買収攻勢」 中国企業対外投資拡大の背景にある経済状況を学ぶ	第20回	流通I「華人的販売手法と成功の秘訣」 大陸における華人的経営手法の分析、今後の市場展望。
第5回	歴史I(華僑史)「華人ネットワーク論」 華僑送金の解明から説き起す、「華人ネットワーク」の歴史的概念と華僑経営の特色としての「合股」概念。	第21回	労務「中国ビジネスにおける人材育成と労務政策」 華人経営スタイルから学ぶ大陸でのマネジメント並びに労務人事政策。
第6回	歴史II(中国史)「中国人社会の歴史的考察」 中国の歴史的変遷、歴史からみた中国人社会の特性、将来展望。	第22回	流通II「交渉戦略」
第7回	政治「中国政治の変遷と展望 ～中国政治の危機の本質～」 中国政治の変遷を辿りつつ、その特質と危機の本質を論じ、国情とは何かを学ぶ。	第23回	物流「中国物流の実情と留意点」 中国港湾インフラの急速な発展と残る課題と対策。
第8回	中国人「中国人の心理と行動」 現代中国人の深層心理の源泉とその行動規範の特殊性を学ぶ。	第24回	総合I「対中ビジネス戦略の基本視点」 総合商社の中国事業の現場から見た中国「国情」認識とビジネス戦略構築上の留意点。
第9回	中国思想史「中国における公私概念の特質」 日中における公私概念の比較を通じて、現代中国に現存する伝統的公倫理の特質を解明する。	第25回	総合II「華人とのビジネスの実践」 中国、台湾、インドネシアに駐在し、一貫して華人とのビジネスに携わった関係から、それぞれの華人とのビジネスのあり方を語る。
第10回	古典思想I「儒教」 中国社会に於ける儒教思想の役割。その歴史的変遷と現代における再評価。	第26回	総合III「最近の中国事情」 中国とWTO、大企業の出現、事業機会、解放される流通業、リスク管理。
第11回	古典思想II兵法「孫子」 中国人の戦略思考の源泉を「孫子」兵法に求め、その「不戦のための兵法」の本質を知る。	第27回	華人経営者演習I 「華人の目で見ると日華労務管理比較」
第12回	古典思想III「法家」 中国社会に於いて法家思想が果たした役割。 現代中国の「法制建設」の流れと、「中国的法治」と近代法的な「Rule of Law」との相違。	第28回	華人経営者演習II 「中華思想の倫理と華人経営の精神」
第13回	古典思想IV「道家と道教」 中国社会において道家思想が果たした役割と現代の道教文化	第29回	華人経営者演習III 「現代華人投資の特質とその方法論」
第14回	中国市場I「中国経済の現状と展望」 中国経済の真の課題は何か。社会主義市場経済の実相を解明し、その課題と近未来を展望する。	第30回	華人経営者演習IV「孫子と武蔵」
第15回	中国市場II「中国市場における消費者の生成と変遷」	修了式	修了式 パネルディスカッション「日系企業の華人社会における事業経営とマーケティング」 華人経営の特質から学ぶ中華文明圏における日系企業の日本的経営と華人経営の最適融合。

* 講義時間は午後7時～9時、開講式・修了式は午後6時30分～9時の予定。

* 日程および講師・講義内容は変更の可能性があります。受講者には事前通知いたします。